

国史跡が拓く 縄文の世界 I

～先端研究が照らす縄文社会の実像～



埼玉県北本市デーノタメ遺跡



埼玉県春日部市神明貝塚の人骨
(撮影：新潟医療福祉大学 奈良貴史)
『春日部市教育委員会所蔵』

- 発表 1 「勝坂遺跡～縄文農耕論の新展開～」
発表 2 「デーノタメ遺跡～関東地方最大級の縄文集落～」
発表 3 「陸平貝塚～霞ヶ浦沿岸の貝塚文化～」
発表 4 「中里貝塚～ハマの巨大貝塚～」
発表 5 「神明貝塚～奥東京湾最奥の環状貝塚～」
発表 6 「縄文社会の複雑化と生業活動の多様性」
発表 7 「縄文貝塚の多様性と特質」
発表 8 「植物資源の利用から見た縄文文化の特性」
発表 9 「同位体生態学からみた縄文人とその社会」
総合討論

- 河本雅人 (相模原市教育委員会)
磯野治司 (北本市教育委員会)
中村哲也 (美浦村教育委員会)
中島広顕 (北区教育委員会)
森山 高 (春日部市教育委員会)
阿部芳郎 (黒耀石研究センター長)
樋泉岳二 (黒耀石研究センター員)
佐々木由香 (黒耀石研究センター員)
米田 穰 (黒耀石研究センター員)

期日：2016年12月11日(日曜日) 9:00 受付開始・9:30 開演 17:00 終了

場所：明治大学駿河台キャンパス・グローバルフロント1F グローバルホール

参加形態：先着順 120名 (事前の受付予約はしません)・参加費無料・無償配布資料有・一般参加も可能です

お問合せ先：明治大学黒耀石研究センター 0268-41-8815